

家畜防疫互助金交付申請書

平成 年 月 日

一般社団法人 日本養鶏協会
会長 齋藤 利明 殿

住 所

契約者氏名

電 話 番 号

()

契約者番号

飼養場所

農 場 名

家畜防疫互助基金支援事業業務方法書に基づき防疫措置を講じましたので、下記のとおり家畜防疫互助金交付契約書第10条の規定に基づき、互助金 円を交付されたく申請します。

1 総括表

契約区分:

(単位:円)

互助金の種類	採卵鶏		肉用鶏	種鶏		※	交付申請金額
	成鶏	育成鶏		成鶏	育成鶏		
経営支援互助金							
焼却・埋却等	—	—	—	—	—	—	—
合 計							

注1 契約区分は、家族型又は企業型を記入(うずら、あひる、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょうを除く。)する。

2 ※には、契約対象家畜の種類(うずら、あひる、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょう)を記入する。

2 交付金額積算内容

契約区分: _____

互助金の種類	契約羽数 (羽)	防疫措置対 象羽数(羽)	導入計画羽 数(羽)	交付申請羽 数(羽)	単価 (円/羽)	金額(円)	備考
経営支援互助金(小計)							
採卵鶏(成鶏120日齢超)							
採卵鶏(育成鶏120日齢以下)							
肉用鶏							
種鶏(成鶏120日齢超)							
種鶏(育成鶏120日齢超)							
※							
焼却・埋却(小計)	—	—	—	—	—	—	
鶏	—	—	—	—	—	—	
合計金額							

- (注) 1 契約区分は、家族型又は企業型を記入する。
 2 契約羽数は、発生農場の契約羽数を記入する。
 3 交付申請羽数は、契約羽数、防疫措置対象羽数、導入計画羽数のうち最も少ない羽数を記入する。
 4 ※には、契約対象家畜の種類(うずら、あひる、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょう)を記入する。

3 上記1の防疫措置の確認者の住所及び氏名

確認区分	防疫措置対象 羽数(羽)	実施場所	住 所	所属先名	氏名 (印)
経営支援					
焼却・埋却					

(注) 住所、所属先名、氏名は、管轄する家畜保健衛生所の住所、所属部署、氏名を記入の上、押印する。

4. 添付書類

上記1の防疫措置を証明する書類 (別紙 書式例)

5. 振込先金融機関名等

〇〇銀行〇〇支店

〇〇預金

口座番号〇〇〇〇〇〇〇〇

口座名義〇〇〇〇〇〇

平成 年 月 日

〇〇養鶏場 〇〇〇〇 殿

高病原性鳥インフルエンザ防疫措置完了確認書

殺処分羽数	平成〇〇年〇〇月〇〇 日	〇〇〇〇	羽
	平成〇〇年〇〇月〇〇 日	〇〇〇〇	羽
	計	〇〇〇〇	羽

上記のとおり、〇〇養鶏場の採卵鶏(成鶏)を殺処分したことを確認しました。

〇〇 県 〇〇家畜保健衛生所長 印